

東京大学の研究者が街に出て親子向けの出張科学イベントを実施 「サイエンスカフェ in ららぽーと柏の葉」を3月1日(日)に無料開催

2008年ノーベル物理学賞の内容を簡単に説明
大人も子供も楽しんで放射線に興味を持てる「霧箱工作教室」も同時開催

NPO サイエンスステーションでは2009年3月1日(日)に、東京大学柏キャンパスの研究者を招き、科学者と一般市民がコーヒーを片手に科学について楽しく語り合う対話型の学習プログラム「サイエンスカフェ in ららぽーと柏の葉」を開催します。今回は、日本人のトリプル受賞で話題になった2008年ノーベル物理学賞の内容をわかりやすく紹介するとともに、通常肉眼では見られない放射線の飛跡が観察できる道具「霧箱」の工作教室を実施します。霧箱の工作は子どもでも簡単に安全に行うことができます。

東京大学の研究者が今回のように、多くの人が集まる週末のショッピングセンターにて、親子を対象に「サイエンスカフェ」を開催することは、これまでになかった展開です。日本の未来を担う子ども達、そして科学に少しでも興味のある多くの方達にとって、科学技術への関心がさらに深まるプログラム内容となっています。なお今回のサイエンスカフェは、つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」前の「ららぽーと柏の葉」、そして独立行政法人科学技術振興機構(JST)の「地域活動支援事業」から協力・援助を受けることで実現しました。

昨年はノーベル物理学賞を日本人が独占する快挙が話題となりました。一方で、理学系の受賞(とりわけ物理学賞)については、その専門性の高さから今回の受賞理由や内容を理解する一般の方は皆無に等しい状況です。今回のイベントでは、スーパーカミオカンデなどを有し、世界中から科学者が集まる東京大学宇宙線研究所の特任助教を招き、昨年のノーベル物理学賞の内容を楽しくわかりやすく紹介してもらいます。また、今回の受賞者3名の専門である「素粒子物理学」誕生に大きく寄与した、放射線の飛跡が観察できる道具「霧箱」の工作教室を実施し、親子で科学の世界を楽しむ機会を提供します。

千葉県柏市柏の葉地区は、東京大学や千葉大学をはじめとする数多くの高度学術機関を有する地域特性を活かし、この街を世界に誇る「国際キャンパスタウン」としていくために、公民学共同での新しい街づくりが進められています。今回のサイエンスカフェについても、学術機関の研究者と市民とが交流することで、当地域の国際キャンパスタウン構想推進に貢献する取り組みとして、今後も継続的な実施を検討してまいります。



【工作教室のイメージ】

高校で霧箱工作を行った出張授業シーン。今回の工作教室は、小学校低学年の方でも楽しめるプログラムとなっています。



【今回工作する霧箱のイメージ】

ドライアイスや発泡スチロールなどを利用した簡易型の霧箱。放射線の動きが飛行機雲状の飛跡を確認できます。

「サイエンスカフェ in ららぽーと柏の葉」実施概要

- 日 時： 2009年3月1日(日) 13:30～15:30
- 会 場： ららぽーと柏の葉「クリスタルコート」
(つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」下車すぐ、秋葉原より電車で約30分)
- 当日内容： [1]「貴方の雑学増やします～ノーベル物理学賞編～」
[2]「眼に見えないものを見えるようにしてみよう！～霧箱工作教室～」
- 講 師： 東京大学宇宙線研究所 特任助教 伊藤英男
- 料 金： 参加料無料
- 申し込み： 不要（霧箱工作キットに関しては数に限りがございます）
- 問い合わせ： NPOサイエンスステーション TEL:0422-34-5027

＜報道関係の方のお問い合わせ先＞

■NPOサイエンスステーション

担当： 中村 (nakamura_m@ioa.s.u-tokyo.ac.jp)
TEL: 0422-34-5027

■柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)

広報担当： 小林 (ma-kobayashi@udck.jp)、 蛭川 (t-hirukawa@udck.jp)
TEL: 090-3510-5586 / 04-7140-9686 FAX: 04-7140-9688

※柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)は、東京大学、千葉大学、柏市、三井不動産、柏商工会議所、田中地区ふるさと協議会、首都圏新都市鉄道の7団体が共同運営する、公民学連携のまちづくり組織です。柏の葉エリアにおける様々な取り組みを情報発信しています。

＜補足情報＞

■NPOサイエンスステーションについて

2004年の3月、自然科学の社会への普及を目的に、東京大学を中心とした学生と教官有志によって誕生した非営利活動法人。大学のような公的機関ではできない広範な活動を行う組織として、出前授業や各科学セミナーなどの企画・運営・サポート等を展開。

■2008年ノーベル物理学賞について

スウェーデン王立科学アカデミーは2008年ノーベル物理学賞を、“素粒子・原子核物理学における自発的対称性の破れの発見”に対してシカゴ大学およびフェルミ国立加速器研究所所属の南部陽一郎氏に、また“クォークが自然界に少なくとも三世代以上あることを予言する、CP対称性の破れの起源の発見”に対して高エネルギー加速器研究機構、日本学術振興会および国際高等研究所所属の小林誠氏と、京都大学および京都産業大学所属の益川敏秀氏に授与した。

■独立行政法人科学技術振興機構(JST)の「地域活動支援」について

JSTは、科学技術理解増進活動を支援して国民が科学技術や理科に身近に触れる機会を充実させる「地域の科学舎推進事業」を、平成19年度より実施。「地域活動支援」は、この事業の一環として実施されており、地域の児童生徒や住民を対象とした科学技術に関する体験型・対話型の学習活動を支援するもの。